

令和6年度 施策評価シート

施策の大綱	1. 快適さを支える生活基盤の向上	評価担当者
基本施策	(3) 上下水道の充実	上下水道部長 松永 政司
目指す姿	市民が、生活環境の改善を図り、良好な水環境の中で、おいしい水を利用しています。	
関連する分野別計画	亀山市新水道ビジョン	

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	
SDGs推進の考察	水道施設の耐震化整備や停電対策整備を進め、施設の強靱化と安全でおいしい水道水の安定供給に努めるとともに、公共下水道施設の普及促進・適正管理と農業集落排水施設の機能強化を進め、公共用水域の水質保全に努めた。また、集中豪雨等における浸水対策の内水浸水想定区域図の作成に向けて準備を行った。

■ 関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段: 予算額	実績・成果等
		下段: 決算額	
①	水道施設停電対策事業	78,220	令和5年度に着手した辺法寺加圧ポンプ場における非常用発電設備の整備を完了し、停電対策が整ったことで、耐災害性の強化が図れた。
		62,168	
①	水道施設耐震化整備事業	91,990	令和5年度から繰越した緊急遮断弁設置工事を完了し、施設の防災機能向上が図れた。また、西日本旅客鉄道(株)との協定締結に日数を要し、関連する管布設工事の発注に遅れが生じたが、発注後は順調に進捗しており、令和7年度末に完了する予定である。
		91,582	
②	公共下水道施設整備事業	506,100	亀山市公共下水道事業計画(変更)に基づき、下水道未普及地域の管渠整備を実施し、公共下水道整備の進捗が図れた。
		458,759	
②	下水道ストックマネジメント対策事業	60,000	下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。
		40,999	
②	農業集落排水施設機能強化事業	76,000	老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太地区浄化センターにおいて機器の一部の更新工事を実施した。また、維持管理適正化計画策定(第2期)し、維持管理の効率化・適正化に向けた対策を総合的に検討を行った。
		73,028	
②	浸水対策事業	0	令和7年度実施予定の浸水対策基礎調査及び内水浸水想定区域図作成を国補事業として採択を受けたことにより、次年度における一般財源の削減を図ることができた。
		0	

太字: 主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	上水道の有収率(北中勢水道を除く)	%	90.0	R2	89.7	89.4	89.7	92.3
2	汚水処理人口普及率	%	88.6	R2	89.11	89.66	90.11	89.1
3	水道事業会計の経常収支比率	%	120.67	R2	114.74	115.09	117.43	114.00
4	下水道事業会計の経常収支比率	%	104.21	R2	104.93	101.17	100.69	100.00
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 安全でおいしい水が供給されている	重要度 1.62 満足度 1.08	1.61 1.13	1.66 1.00	安全でおいしい水の供給は重要度・満足度ともに全項目中2位となっているが、昨年度から重要度の上昇に対し、満足度は下降しR2からも低くなった。一方、生活排水の適正処理は、重要度・満足度ともにR2から着実に上昇している。いずれも高い評価を受けており、今後も継続できるよう取り組む必要がある。
2 生活排水が適正に処理されている	重要度 1.52 満足度 0.85	1.54 0.82	1.58 0.91	
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 安全でおいしい水の安定供給	水道施設の耐震化や浸水対策等の強靱化を進め、施設の維持管理を適切に実施するとともに、水質管理の強化に取り組んだ。
② 生活排水対策の推進	公共下水道事業計画に基づき下水道未普及地域への供用開始区域の拡大を行うと共に、下水道事業区域外には、補助金の交付により合併処理浄化槽の設置を促進し、水質汚濁防止に努めた。
③ 上下水道事業の健全経営(上水道)	人件費や物価上昇に伴う修繕費や建設改良費の上昇があるものの、有収率の向上による経費削減や収納率の向上による財源確保等に努め、健全経営を維持している。
③ 上下水道事業の健全経営(下水道)	社会情勢の変化に対応しながら、経営戦略に基づく経営状況を把握し、持続可能な事業運営のための、下水道使用料改定の必要性について検討を行った。
④	
⑤	
⑥	

総合評価

安全でおいしい水の安定供給については、老朽化した水道管等の施設更新や適正な維持管理を行ったほか、辺法寺加圧ポンプ場において非常用発電設備を整備し、亀山配水池に緊急遮断弁を設置するなど、水道施設の強靱化を図った。生活排水対策の推進については、公共下水道未普及地域において、公共下水道事業計画に基づき、川崎町、阿野田町などで整備工事を行い、公共下水道処理人口普及率は前年度より1ポイント増の64.1%となった。既に供用開始している地域では、公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、みどり町において老朽化した管渠の改築・更新工事を実施し、持続可能な下水道機能を確保することができた。また、農業集落排水地域においては、老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき更新工事を実施するとともに、農業集落排水施設維持管理適正化計画を策定した。このほか、ゲリラ豪雨や台風などによる浸水対策として事業計画を策定し、内水浸水想定区域図の作成に向けた準備を行った。上下水道事業の健全経営については、人件費や物価高騰などによる経費の増があったものの、水道料金及び下水道使用料の収納率向上に努めた一方で、経常収支比率は各会計とも100%を上回り、健全な経営状況となっている。また、持続可能な経営を維持するため下水道使用料の在り方について検討を行った。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

水道事業については、施設の老朽化対策等適切な維持管理を継続するとともに、令和7年4月に策定した上下水道耐震化計画に基づく施設の耐震化や、漏水事故の解消に向けた铸铁管更新計画の策定、PFOSやPFOA等の水質危害から水道水の安全確保を強化する水安全計画の策定、施設の浸水対策等、新水道ビジョンに基づいた取り組みを進める。また、新たな産業団地に対応できる工業用の水を確保する。下水道事業については、効率的な汚水処理を図るため生活排水処理アクションプログラムの見直しを行い、公共下水道の未普及対策や農業集落排水施設の機能強化対策を進めるとともに、官民連携による施設の管理・更新一体の維持管理の導入を目指す。上下水道事業の健全経営については、有収率の向上や財源確保に努め、上水道事業では経営戦略を見直し、下水道事業では下水道使用料の見直しを行う。浸水対策については、工事の実施に向け、内水浸水想定区域図及び雨水管理総合計画の作成を進める。